

新潟の未来をSaGaSuプロジェクト

現状

- 人口減少と少子化の急速な進行
 - ・若者を中心として社会減少数が全国平均以上
 - ・佐渡市・阿賀町の中卒者数は20年前に比べ約半減

- 通学範囲の広さと通学手段の不便さ
 - ・離島の佐渡市は、東京23区の約1.4倍の面積に県立高等学校等が5校点在し、中山間地域の阿賀町は、県内有数の豪雪地域で、町唯一の高等学校以外への通学には30km以上の距離

- 県立高等学校等の小規模化の進行
 - ・本県の全日制及び定時制課程の県立高等学校・中等教育学校のうち47%が1～3学級募集（令和6年度募集学級計画）

目的

- Sado(佐渡)とaGa(阿賀)とSuikou(新潟翠江)のネットワーク7校の取組で、新潟の高校教育の未来を拓く。
 - 遠隔授業をとおして、生徒のニーズに応じた多様な教科・科目の開設を行い、離島・中山間地域の教育環境の充実を図る。
 - 佐渡市、阿賀町両自治体が推進するキャリア教育を基盤として、地域と一体となって有為な地域人材を育成する。

R5 取組内容

遠隔授業の実施やその運営体制に関する取組

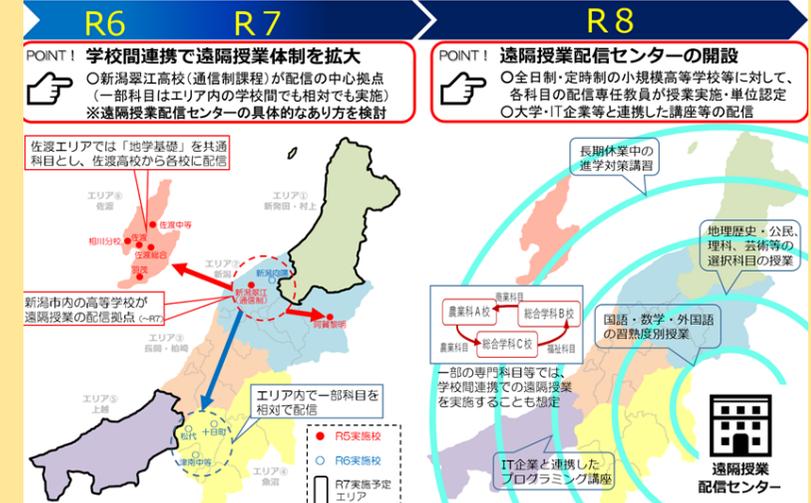


R6～取組予定

自走体制構築（県事業として予算化）①

多様で柔軟な学びの推進に向けた遠隔教育配信拠点形成事業

- R6年度で12校で、延べ21科目の遠隔授業を実施



2校同時配信で実験に取り組む生徒の様子

「ICTを活用した授業は、学習意欲の向上につながっている」と回答した割合
ネットワーク6校平均 89.2%
 ※R5年度全県平均値と比較して+1.9%

- 「書道Ⅰ」「社会福祉基礎」等を加え、単位認定を伴う通年配信を16科目にわたり実施
- 生徒1人1台端末を活用した遠隔授業のスタイルを確立
- ネットワーク校の生徒同士が、オンラインや対面で、学校の枠を超えて、探究活動の成果を発表する機会を設定



SaGaSu委員生徒作成のロゴマーク

コンソーシアム構築による教育の高度化・多様化に関する取組



自走体制構築（県事業として予算化）②

高校と地域との連携・協働体制構築事業

- 学校と地元自治体等と連携・協働した体制構築及びそれに関連した取組を行う学校を支援
 - ・指定件数 5件程度（1件当たり300万円を上限）

- 「総合的な探究の時間」や学校設定科目等の授業をとおして、生徒の探究活動に伴走し、キャリア教育等の充実に向けた支援体制を構築

「地域の人との対話や活動が自分の成長につながった」と回答した割合
ネットワーク6校平均 78.0%
 ※R4年度全県平均値と比較して+5.6%
 『学校生活等に関する意識調査』（県教育委員会）